

平成 30 年 第 11 回小松川交流大会（大会要項）

1. 本大会は、トーナメント方式とする。
 2. 試合は 7 回戦とし、1 時間 20 分を越えて新しいイニングに入らない（勝ち逃げあり）。
 - * 「競技者必携（2016）」〔全日本軟式野球連盟 発行〕 ●競技に関する連盟特別規則（少年部・学童部）11 試合時間の制限により行う。（p25）
- ただし、決勝戦は 7 回戦で時間無制限とする。（コールドゲームは適用）
3. 7 回終了、又は時間切れ同点の場合は、タイブレーク方式を採用する。
タイブレーク方式は、無死満塁（最終メンバーの継続打順）により 1 イニング行う。なお、勝敗が決定しない場合は、最終メンバー 9 人の抽選により勝敗を決定する。
 4. コールドゲームを採用する。
本大会は、3 回 15 点・4 回 10 点・5 回 7 点差以上でコールドゲームとする。なお、強風・降雨・日没等の場合は 4 回にて試合成立とする。
 5. ベンチ入りは、代表者、保護者代表、監督、コーチ 2 名、スコアラー 1 名、選手は 20 名以内とする。
 6. ベンチは抽選番号の若い番号を 1 塁側とし、先行・後攻はジャンケンにて決定する。
 7. チーム応援は、所定の場所で行う。
 8. 選手登録
 - ◎ 登録は、選手 20 名以内とし背番号は 99 番以内とする。監督は 30 番、主将は 10 番とし、コーチは 28・29 番を付けること。
 - ◎ 選手全員スポーツ保険に加入していること。ただし、大会期間中に発生した事故に関しては応急処置以外一切の責任はもたないものとする。
 - ◎ 選手及び監督コーチは、ユニホーム・スパイク・帽子・ストッキングは、統一したものを着用すること。
 - ◎ 試合開始 40 分前までに集合し、開始 30 分前までに大会本部にメンバー表を提出すること。
 9. 投手は 1 人 1 日 7 イニングまでの投球制限とする。投球イニングに端数が生じた時のとり扱いについては、3 分の 1 回（アウト 1 つ）未満であっても 1 イニング投球したものとして数える。
 10. 参加チームは、単独チームとし、一切の補強を認めない。
 11. ヘルメットは、必ず 8 個以上用意すること。また、捕手用用具（JSBB）は必ず着用すること。
 12. 金属バットは、全軟連公認（JSBB）のものに限る。
 13. 試合中の選手交代は迅速に行うこと。また、ランナーコーチは選手とする。
 14. ランナーコーチは、ベンチからヘルメットを着用してコーチアスボックスへ行くこと。
また、ボールボーイもヘルメットを着用すること。（審判へのボール渡しは着帽のままでよい）
 15. 投球練習の際、キャッチャーは必ずマスク・捕手用用具を着用すること。また、2 回以降のキャッチャーの声かけは、定位置で行うこと。
 16. 上記に記載されていない方法と規則は、全軟連規則を準用し、特別ルールは本連盟にて決定し実行する。